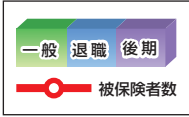
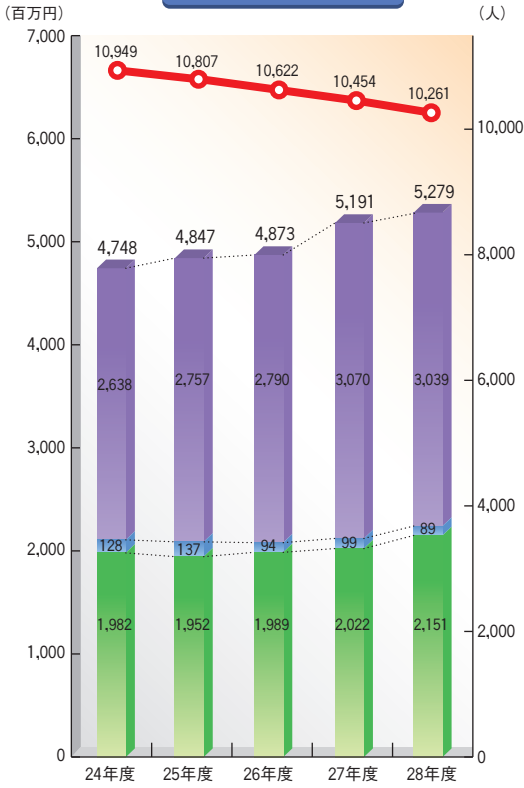


# 高根沢町

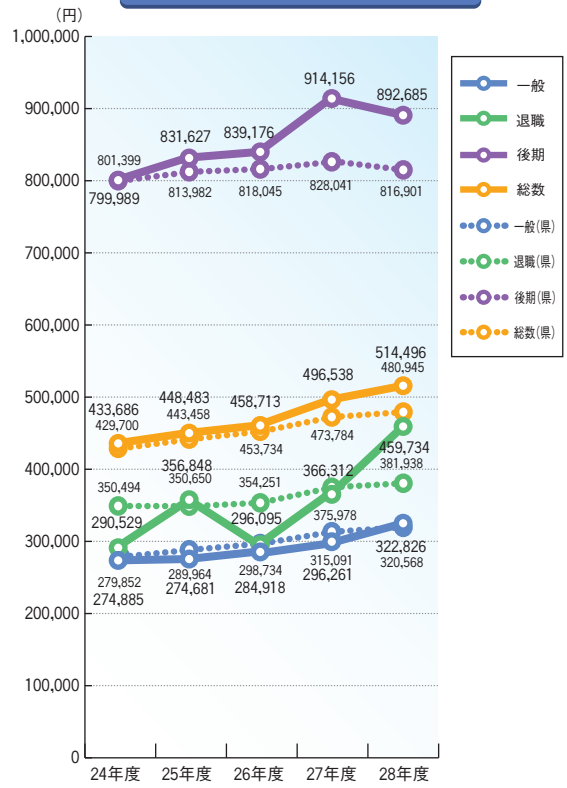
# 高根沢町



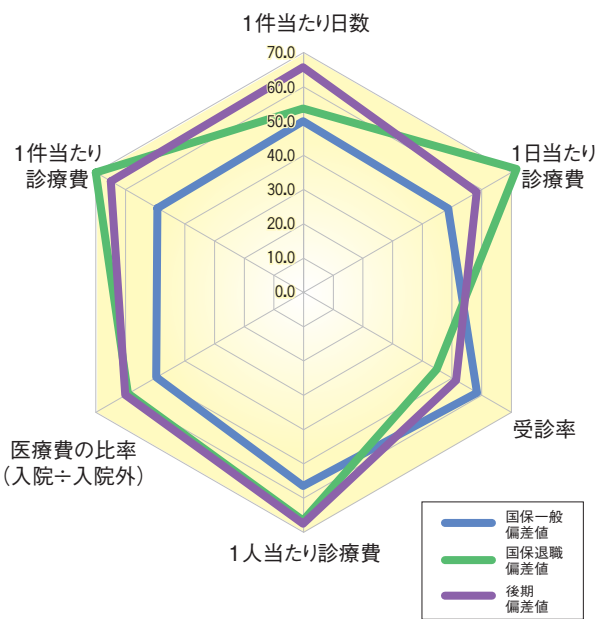
### 医療費の推移



### 1人当たり医療費の推移

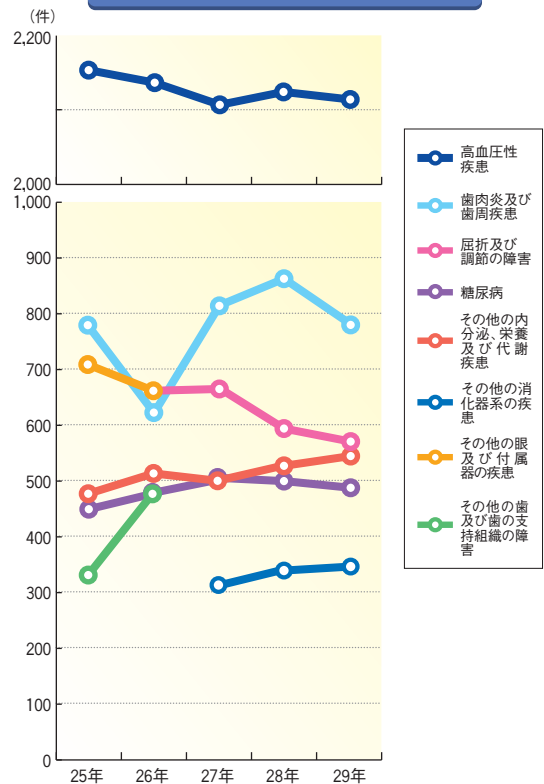


### 平成28年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

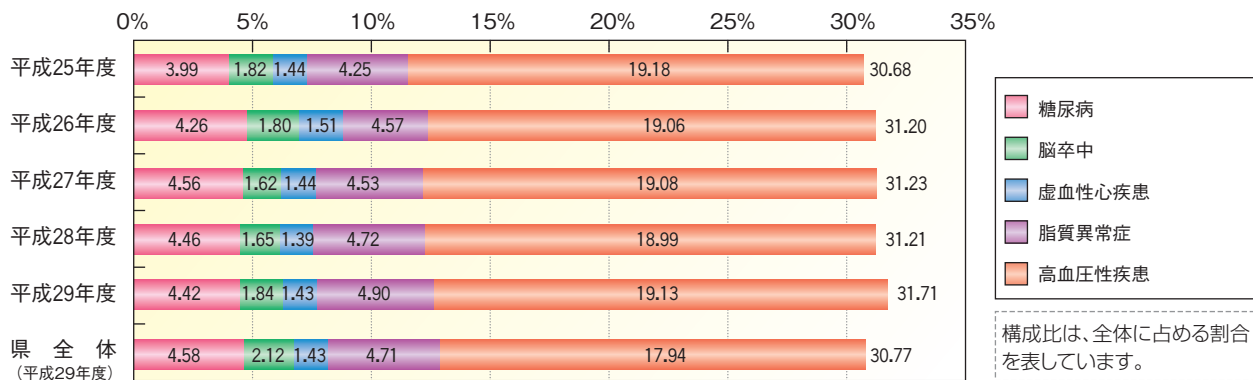


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

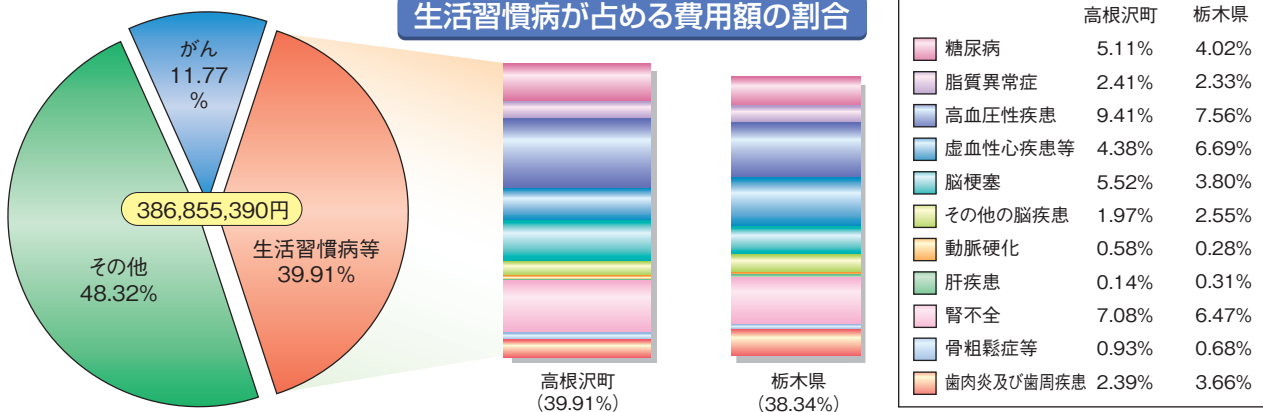
### 多受診疾病上位6位の推移



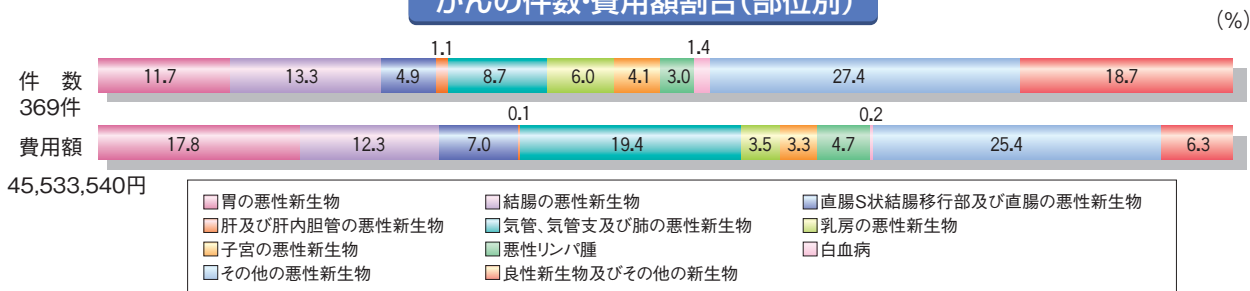
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 高根沢町の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,150,990千円(106.4%)、退職88,729千円(89.7%)、後期3,039,442千円(99.0%)で、全体では5,279,161千円(101.7%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は10,261人で、内訳は一般6,663人、退職193人、後期3,405人である。前年度比較すると全体で98.2%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は514,496円(17,958円増)、一般は322,826円(26,565円増)、退職は459,734円(93,422円増)、後期は892,685円(21,472円減)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般は受診率、1人当たり診療費が県平均を上回っており、退職は受診率以外の項目が県平均よりも高い数値を示し、後期は全ての項目において県平均を上回る偏差値となっている。

### ★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の消化器系の疾患で、中でも3位の屈折及び調節の障害は、平成25年度と比べて件数は0.80倍と減少したが費用額は1.43倍と増加した。

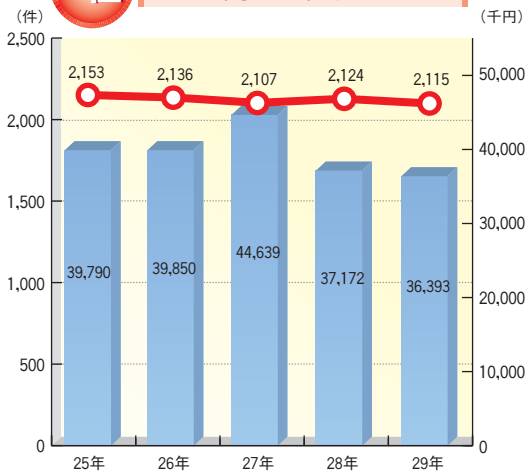
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも脂質異常症は過去5年間で最も高い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が386,855,390円で、がんが11.77%、生活習慣病等が39.91%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額が占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.41%、腎不全7.08%、脳梗塞5.52%となっている。

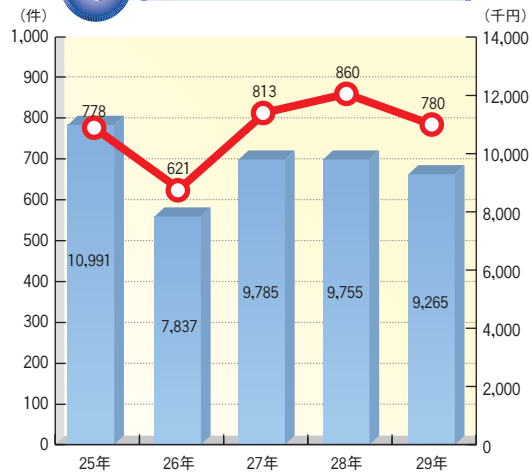
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

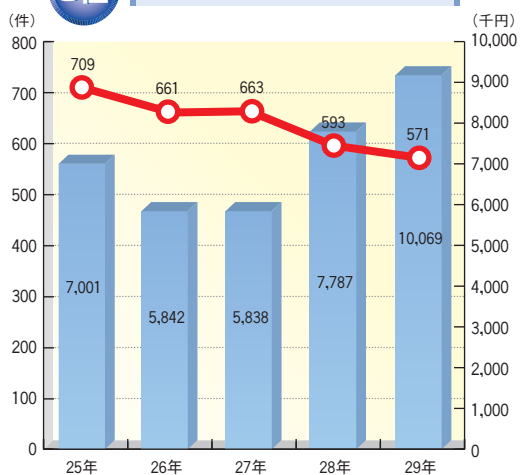
## 1位 高血圧性疾患



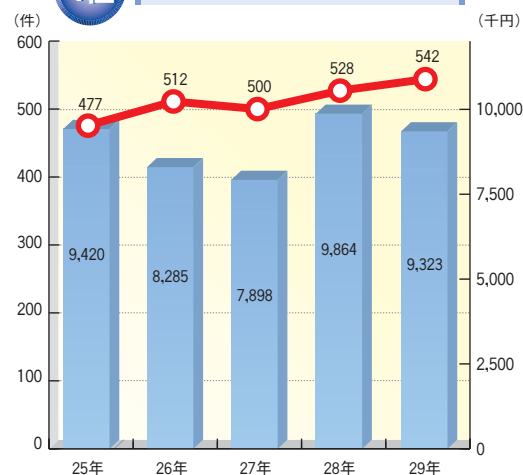
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



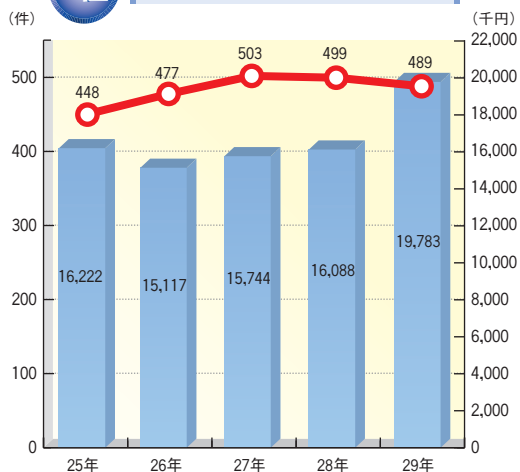
## 3位 屈折及び調節の障害



## 4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 5位 糖尿病



## 6位 その他の消化器系の疾患

